

## 優 秀 賞

大切な「水」について

水戸市立第四中学校

一年 森 彩 乃

「水を大切に」と言われても、どうもピンとこない。自分が水を節約しても別にかわらないのでは。そう思ったことは一度でもあると思います。私もそう思っていました。

今の私たちの生活で水は蛇口をひねれば簡単に出てくるもので、毎日生きていくためにかかせないものです。そんな水がこの地球からなくなってしまうたらどうなるでしょうか。当然食料も手に入らなくなり、人間はまちがいなく生きられなくなるでしょう。そうだと思うけど、実際になってみないとわからない。それだと遅いのです。なので、水の大切さを今から考えていこうと思います。

まず一つ目は、水道について考えていきます。私

が住んでいる水戸市では昔、用水の便が悪かったのが徳川光圀が水道設置を命じたそうです。それが「笠原水道」と呼ばれ、多くの人に利用されてきました。現在の水戸市において飲料水を供給していた上水道とその水源地が「笠原水道」です。この話を祖父から聞き、共に笠原水道へ行きました。昔のように水がたくさん流れていなかったが、敷設当時の岩樋の復元模型が設置されていたり、発掘調査で出土した岩樋が展示されており、江戸期から明治時代を通じて使われた「笠原水道」の歴史を垣間見ることができました。また、「笠原水道」を復元した水場があり、「笠原水道の水」で水遊びができたり、明治時代に作られた竜頭栓から飲料水として処理された「笠原水道の水」を飲むことができました。「笠原水道」の歴史をふりかえりながら飲むと、ひんやりとして美味しかったです。

二つ目は、ダムについて考えていきます。ホロルの湯に行く途中で藤井川ダムを見ってきました。藤井川ダムは、一級河川那珂川の支川藤井川に建設された多目的ダムです。想像していたよりも水がたまっ

ていきましたが、水不足によりこんなに大きなダムが干上がってしまうのはとてもおそろしいことだなど思いました。その後、ホロルの湯に入ったりプールでおよいだりして楽しみましたが、おいしい水を飲み水以外に多く使用しているのはもったいないと思いました。

「笠原水道」と「藤井川ダム」に実際に行って、水はどんなに大切な資源か学ぶことができました。インターネットで検索して見るよりも実際に見たことが「水の大切さ」を知るきっかけになったと思います。毎年耳にする「水不足」はすぐに解決できる問題ではないけど、節水が必要なのです。例えば、シャワーを必要最低限使用し、なるべく湯船の湯を使うようにしたり、歯みがきのときにコップに水をためて使ったり、蛇口の水をすぐ止めるなど、どれも簡単に出来るものばかりです。自分だけがそんなことをしても意味がないとあきらめるのではなく、ささいなことを習慣にしていけばそれが普通のこととなり、あたり前になるでしょう。自分がすれば、家族も節水をするきっかけとなり、そのきっかけが

どんどん広がっていくかもしれませぬ。そうになると、節水の意味が生まれてきます。

もう少しで、暑い夏がやってきます。今こそ一人一人が「水の大切さ」に気付き、節水を心がけ夏の水不足をなくせるよう努力するときではないのでしょうか。